

科目「青鵲課題研究」「青峰探究」ワークシート①

ねらい ○課題研究の意義と流れを理解する。

○課題設定のワークを通して、研究・探究活動の課題設定について理解する。

1. 課題研究・探究活動の意義

自然や社会の中の、未知もしくは不利益な現象（＝課題）に対して、現状・原因を深く理解し、その中で問いを設定し、仮説を立て、調査・実験によって明らかにする。そして、その内容を共有する。

2. 課題研究・探究活動の流れ「進路に応じた課題を設定する」

①課題の設定

- (1) 希望する分野から未知の現象や問題点を見つける。
- (2) 先行研究を調べて、その課題が本当に未知な現象であるか調べる。
- (3) 未知な現象や問題点に対して仮説を立てる。

②解決に向けた情報収集

- (1) 研究・探究手法・計画を策定する。
- (2) 実験や調査を行う。

繰り返す

③情報の整理・分析

実験や調査によって得られたデータを分析し、考察する。

④まとめ・表現

得られた知見をまとめる

3. ワーク

①課題の設定

(1) 希望する分野から未知の現象や問題点を見つける。

(i) 希望する分野()学部()学科に関連するワードを書き出そう

(ii) 書き出したワード(〇〇)について調べよう.

※調べた内容で分からないワードが出てくれば更に調べてみよう

例1) 機械系学科:「機械工学」とは、力学を使って機械の設計や製造技術を学ぶ。摩擦や熱など力を考慮することが必要。

例2) 経済学部:「行動経済学」とは、経済学と心理学を組み合わせる人間の経済行動を分析したり誘導したりする学問。

(iii) 調べたワード(〇〇)について、疑問に思ったことを書き出そう.

例) 〇〇を□□すると、どうなるのか? △△の〇〇は、何故だろう? など

(2) 先行研究を調べて、その課題が本当に未知な現象であるか調べる。

(i) 先行研究論文の検索：次の論文検索サイトで①－(1)－(iii)のワードを入力して論文検索を行う。

・J-STAGE：文部科学省所管の国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営。日本国内の論文が検索可能。

・Google Scholar：Google が提供する論文検索サービス。国内外の論文が広く検索できる。

(ii) 先行研究との比較：検索した論文を読み、自分たちの研究しようとしていることが新しい研究であるか確認する。「抄録(しょうろく)」を読んで先行研究の概要を理解する。1つの先行研究論文を全部読むより、多くの論文の抄録を読んで自分たちの研究分野に関する知識を増やそう！

※自分たちの研究に必要、もしくは関係がありそうな論文は、「参考文献」「引用文献」になる可能性があるなので、記載しておく必要があります。

- ・参考文献、引用文献は、①著者②発行年③書名④出版社の順で記載する。
- ・インターネット上の資料を用いた場合は、①作成者②公開年③Web ページのタイトル④URL⑤調べた年月日の順で記載する。

年 組 号 氏名

学習日 年 月 日 ()